

令和7年度 部長目標宣言シート					都市整備部			
No.	部長目標宣言		課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名
					指標名	現状値	目標値	
①	人の流れの変化や市民からの新たなニーズを踏まえた交通網の再編成等により、さらなる利便性向上を図り、誰もが利用しやすい公共交通の整備を推進します。		都市計画課	持続可能な公共交通の実現に向け、開発等に伴う人の流れの変化や、新たな市民ニーズを踏まえた交通網の再編等により、さらなる利便性向上と利用者確保を図ります。	コミュニティバス、デマンド交通の1日当たりの利用者数	365人/日 (R7.3見込)	365人/日	公共交通運行事業
	市民意識調査における「公共交通対策」の満足度	46.4% (R6年度調査)			46.4%以上	新規バス路線導入事業		
	中間評価					公共交通周知活動		
②	空き家や空き地の有効活用により住環境を向上させ、まちなかを活性化させることで長期にわたり暮らしやすいまちを目指します。		都市計画課	空き家対策の充実に向け、管理不全空き家の棟数把握により、市内空き家の状況を精査するとともに、各協定団体の連携を図りつつ、助成金等の活用により、空き家等の減少及び利活用促進に努めます。	空き家・空き地活用バンク成約数	39件	40件	空き家・空き地活用バンク事業 (空き家等対策推進事業)
	管理不全空き家等棟数	—			棟数把握	空き家等実態調査 (空き家等対策推進事業)		
	特定空き家等棟数	47棟			40棟	空き家対策関連補助金 (空き家等対策推進事業)		
③	公園施設の計画的な更新を進めるとともに、快適な公園環境の維持を図ります。		都市計画課	都市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の計画的な維持管理・更新を行い、都市公園機能の安全性および機能の向上を図ります。	空き家の利活用棟数	21棟 (R6.4)	30棟	空き家等対策連絡協議会事業
	モデル事業提案採択件数	—			1件	中心市街地再生モデル事業		
	中間評価							
④	安全・安心に通行できる歩行者空間と橋梁等の安全性を確保します。また、除雪オペレーター資格取得支援事業をスタートさせ、除雪体制の維持に努めます。		土木課	燕地区南町地内において、老朽化が進んでいる既設側溝を改修、蓋掛けし、生活道路の路肩拡幅を行い、車両、歩行者の安全を確保します。	都市公園施設の健全率	72.3%	74.7%	都市公園施設整備事業
	健全または予防保全レベルの施設数 対象施設(N=459施設)	332/459 (施設数)			343/459 (施設数)	児童遊園管理事業		
	中間評価							
④	安全・安心に通行できる歩行者空間と橋梁等の安全性を確保します。また、除雪オペレーター資格取得支援事業をスタートさせ、除雪体制の維持に努めます。		土木課	老朽化が進んでいる橋梁等の道路施設について、長寿命化を図り適正な維持管理を行います。	整備率 (整備済延長/総延長(L=9,200m))	26.8%	37.0%	生活道路整備事業
					3巡目の橋梁点検進捗率(5年に1度の法令点検)(橋梁点検済箇所/橋梁点検箇所(608))	26.0%	48.4%	橋梁定期点検事業
			土木課	慢性的な渋滞が発生している箇所に対し、バイパス機能を持つアクセス道路を整備することで、渋滞の緩和を図ります。	橋梁修繕進捗率 (橋梁修繕済箇所/橋梁修繕箇所(63))	54.0%	74.6%	橋梁修繕事業
					測量設計業務完了	—	12月	物流センターアクセス道路(大曲他地内)整備事業
			用地測量業務・用地買収完了	—	3月			
			土木課	通学する児童・生徒や歩行者の安全確保を目的とした自転車・歩行者道の整備を実施します。	整備率 (整備済延長/総延長(L=464m))	0.0%	50.0%	道金水道町線道路改良事業
			土木課	水銀灯の道路照明をLED化することで、道路の夜間視認性の向上と省エネ化を図ります。	整備率 (整備済灯数/総灯数(N=998灯))	37.8%	100.0%	道路照明LED化事業
			土木課	道路冠水による二次被害を未然に防ぐため、道路監視カメラの更新・増設および冠水センサーの新設を行い、初動対応が迅速に行えるようにします。	道路監視カメラ更新・増設台数	8台	10台	道路監視システム更新事業
					冠水センサー設置台数	—	2台	
			土木課	除雪オペレーターの担い手の確保および育成を支援し、冬期の道路交通を確保するための体制の維持を行います。	除雪オペレーターの人数	260人	270人	除雪オペレーター資格取得支援事業
	中間評価							
	最終評価							

令和7年度 部長目標宣言シート

令和7年度 部長目標宣言シート

No.	部長目標宣言	課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名
				指標名	現状値	目標値	
⑤	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資するため、 下水道の面整備、及びし尿受入れ施設の整備 を進めるとともに、老朽化した下水道施設の計画的かつ効率的な更新を推進します。	下水道課	令和10年(2028)年度までの集合処理区域の概成を目指し、下水道整備を計画的に進め、普及率の向上に努めます。	集合処理区域の下水道処理人口普及率	91.2% (R6実績見込)	95.4%	公共下水道の整備(未普及対策)
			ストックマネジメント計画に基づき、合流幹線管渠と下水終末処理場の改築更新並びに耐震化を推進します。	ストックマネジメント計画に対する事業進捗率(合流管渠更生率)	55.8% (R6実績見込)	64.2%	本町排水区(合流)管路施設の改築・更新
				下水終末処理場改築更新及び耐震化事業進捗率	－	100.0%	脱水機棟耐震補強工事 反応タンク設備改築更新及び耐震実施設計業務委託
			下水終末処理場へし尿等の受入施設を編入するため、国への交付金要望及びし尿施設所管課との各種協議を進めます。	国への交付金要望	－	11月完了	防災安全交付金要望
	中間評価			予算計上及び委託先選定の協議	－	11月完了	基本設計業務委託の予算計上及び委託先の選定
最終評価							
⑥	下水道使用料の適正化、及び水洗化率向上に向けた取り組みを推進し、 下水道事業経営の健全化 を図ります。	下水道課	下水道への接続を促進し、使用料収入の増加を図ります。	下水道接続率の向上	75.4% (R6実績見込)	76.3%	下水道接続率向上に向けた取り組み
		下水道課	下水道事業経営改善戦略に基づき、使用料改定に取組むとともに、市民への理解促進のため周知活動を推進します。	下水道条例の改正	－	9月改正	下水道使用料見直し及び改定に関する住民周知
⑦	内水氾濫リスクを見える化し、 内水浸水被害の軽減 対策に活用します。	下水道課	燕地区の下水道処理区域内において、最大規模降雨時に浸水が想定される区域を示す「内水浸水想定区域図」を作成し、公表します。	内水浸水想定区域図の公表	－	3月公表	内水浸水想定区域図作成
⑧	老朽化した公営住宅の解体整理を行い、 敷地の有効活用を推進 します。	営繕建築課	老朽化により防犯上・安全上の問題を抱え、入居募集停止となっている公営住宅(整理対象団地)の解体・処分を行います。	整理対象団地における解体住戸数の割合(累計・H18～)	39.66% (R6まで累計)	42.00%	公営住宅整理事業(市営住宅管理費)
⑨	大地震発生時の 住宅の倒壊から市民の命を守る ため、住宅の耐震化を強力に推進します。	営繕建築課	新たな耐震化メニューを追加した「地震に強い住まいづくり支援事業」を実施し、住宅の耐震化率の向上を図ります。	住宅の耐震化率	84.79% (R6末)	85.30%	地震に強い住まいづくり支援事業(建築総務費)